

皆さんの希望です！

～ 請願・陳情～

請願は、皆さんが国や県、市区町村に対し、一定の希望を述べるものです。
憲法には、国民の基本的権利として請願権（第16条）が保障されています。
陳情は、法で定められた権利ではありませんが、取手市議会では、請願と同様に審議しています。

● 保育制度改革に関する意見書提出を求める請願書：不採択

現在、国において検討されている「子ども・子育て新システム」は、保育の地域格差が広がるだけでなく、経済状況により子どもが受ける保育レベルに格差が生じることになりかねない。

よって、十分な財源を確保することなどを求める意見書の提出を求めるもの。

〔提出者〕

茨城県自治体労働組合連合執行委員長 張替克己氏（つくば市）

● 取手市議会基本条例早期制定を求める陳情：採択

二元代表制の機能を十分に発揮するため、取手市議会基本条例の早期制定を求めるもの。

〔提出者〕

寺田富蔵氏（白山）ほか 854人



● 一問一答方式に統一することに関する陳情：不採択

取手市議会で行う一般質問について、一括質問一括答弁と一問一答方式の併用はやめ、議論が深まり、わかりやすい一問一答方式に統一することを求めるもの。

〔提出者〕

桑門宏行氏（光風台）

● 議会報告会再開に関する陳情：採択

終了となった議会報告会を早急に再開することを求めるもの。

〔提出者〕

桑門宏行氏（光風台）

追跡



どうなった？

採択した皆さんの希望…

議会で採択した請願・陳情のうち、市や市教育委員会などに関係するものは、議長から市長や教育委員長に送付し、採択した年度末までにその処理状況の報告を求めています。

平成22年度中に採択した請願・陳情の処理状況について、議会は、以下の報告を受けました。

件名	処理状況
取手市地震ハザードマップの見直しに関する請願	今後、国の動向や財政状況を勘案し、見直しを検討していく。
取手駅東口改札構内の早期「バリアフリー化」を求める請願書	JR 東日本と協議を継続している。
取手駅東口改札からホームに上がる階段にエスカレーターを設置することに関する請願	JR 東日本と協議を継続している。
産廃不法投棄現場周辺への県南水道早期敷設に関する請願	県南水道企業団において、平成22年8月2日から平成23年3月16日の間、請願個所に配水管布設工事が実施された。加入者が接続工事を行うことにより上水の利用ができる状況となった。
取手駅周辺の活性化促進を求める請願	平成22年度において、土地利用構想の再立案に取り組み、活性化に向けた方策について検討を進めている。
県道長沖・藤代線と桜が丘を結ぶバイパスの建設促進を求める請願書	茨城県に対し、毎年、早期完成の要望をしている。今後も引き続き、要望していく。
リフォーム資金助成条例の制定を求める請願	平成22年度において、市内企業・事業所の実態を把握するためのアンケート調査を実施。その結果を基礎として、市の産業振興計画を策定し、産業振興のための施策を立案する。その過程の中で、リフォーム資金助成についても検討。
永山小学校改築工事着手前に市道1564号の完成を求める陳情	本市道改良工事は、永山小学校改築工事において、相当数の大型車両が通行することから、道路に対する影響を考慮し、改築工事終了後に道路改良工事を実施する計画で検討。小学校改築工事は、22年度から25年度を予定。その進行状況を見極めながら道路改良工事に着手していく。
野々井中学校廃校に伴う跡地・施設利用に関する陳情	現在、将来の市内公共施設の在り方や利活用についての方針（案）を策定中。この方針によって、野々井跡地についての利用計画を進めていく。なお、23年度は、現在利用している団体の皆様には、これまでと同様に利用できるよう配慮していく。

意見書

意見書は、市の利益となることについて、議会の意思を意見としてまとめた文書です。
可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめとする各大臣、国会、県など、関係する機関に提出してきます。今回は、どんな意見を届けたのか見てみましょう。

● 公共交通機関のバリアフリー化の更なる推進を求める意見書：可決

関東鉄道常総線各駅のバリアフリー化など、地域のニーズに対応した公共交通機関のバリアフリー化推進を求めるもの。

〔提出者〕

貫井議員ほか3人

● コメの戸別所得補償制度の見直しを求める意見書：可決

次のことを国に求めるもの。
・ 前年度のコメ戸別所得補償制度モデル事業を検証し、検証結果を早急に示す。
・ 大幅な価格下落時に支払われる変動部分を全国一律でなく、地域ごとに補償。
・ 生産者の手取りを増やす
・ 新しいビジネスモデル研究。
・ 農村整備などのインフラ整備を早急に実施、促進。

〔提出者〕

染谷議員ほか3人

● 若者の雇用対策の更なる充実を求める意見書：可決

次のことを国に求めるもの。
・ 人材を求める地方の中小企業と学生をつなぐ「マッチング事業」を自治体が積極

的に取り組めるよう支援。
・ 都市と地方の就職活動費用や情報格差の解消。

〔提出者〕

阿部議員ほか3人

● ハツ場ダムなどの検証検討を科学的、公正に行い、過大な水道水供給契約を見直し、ハツ場ダムなど水源開発からの撤退、水道料金の引き下げを求める意見書：否決

科学的・公正にすること。
・ 県企業局と市町村の契約水量を実態に合わせて見直し、ハツ場ダムの無用の水源開発から撤退し、水道料金の引き下げを図ること。

〔提出者〕

朝比奈議員ほか2人

● JKA交付金制度の改善を緊急に求める意見書：可決

次のことを国に求めるもの。
・ 社会経済状況の悪化等により、競輪事業の継続が困難となっている状況を踏まえ、23年度からの交付金の交付率を総体で1%以下に。

〔提出者〕

佐藤（隆）議員ほか5人
